

クローズ型サウンディング開催のご案内

かがわPPP/PFI地域プラットフォームは、香川県内の地方公共団体が民間活用等を検討する個別案件のクローズ型サウンディングを開催します。対象案件にご興味のある事業者さまを募集します。

サウンディング案件一覧

高松市 開催日：2025年 8月5日（火）・7日（木）

- ① **高松市塩江道の駅エリア整備における地域振興施設のPPP/PFI手法の導入**（観光交流課）
概要：新たな道の駅における地域振興施設のPPP/PFI手法の導入可能性

高松市 開催日：2025年 8月25日（月）・28日（木）

- ② **本庁舎空調整備改修**（財産経営課）
概要：空調設備の早期整備に向けたPPP/PFI手法などを踏まえた検討
※現地視察可能日（希望者のみ）：8月6日（水）終日 希望する場合は、入力フォームよりご登録ください。
- ③ **高松市中央公園における新しい管理運営手法**（公園緑地課）
概要：民間主導による持続可能な管理運営手法の参入可能性

坂出市 開催日：坂出市が指定する日程（エントリーシート提出後に調整）

- ④ **廃校施設の利活用**（教育総務課）
概要：7つの廃校における持続可能なまちづくりに資する利活用の検討

さぬき市 開催日：2025年 9月2日（火）・3日（水）

- ⑤ **志度働く婦人の家跡施設利活用**（教育委員会生涯学習課）
概要：優れた立地条件を活かした施設の多角的検討
- ⑥ **高齢者福祉開発推進センター（日盛の里）及び生活支援ハウス（日盛苑）跡施設利活用**
概要：譲渡貸付を含めた有効的な利活用の検討（健康福祉部長寿介護課）
- ⑦ **津田港上屋倉庫（旧海苔加工場等）利活用**（プロジェクト推進室）
概要：民間活力を導入したにぎわい創出の拠点となる施設の整備検討

参加対象 対象案件の活用に興味のある民間事業者（香川県内外問わず）

開催形式 対面開催またはオンライン形式
（対面の場合は対象の地方公共団体の会議室を予定）

申込方法 締切：開催日の7日前まで
二次元バーコードを読み込み、申請フォームに必要事項を入力のうえ送信



案件の詳細説明は別紙記載（P3以降）

【主催】 かがわPPP/PFI地域プラットフォーム

（代表：百十四銀行・香川県・高松市・日本政策投資銀行）



【お問い合わせ先・参加申込先】

株式会社百十四銀行 地域サステナビリティ推進部（担当：勝岡・入船）

TEL: 087-836-2985

E-mail: ppp@114bank.co.jp

参加申込について

お申込みの流れ

STEP1

- 二次元バーコードを読み込み、申請フォームに必要事項を入力のうえ送信
- 面談可能日は、可能な限り複数時間帯をご選択ください。



STEP2

- お申込みいただいた内容に沿って、事務局と対象自治体との間で日程調整を実施

STEP3

- 面談日が確定次第、事務局よりお知らせ（目安：受付から2営業日以内）

－ 留意点 －

☒ 1面談あたり最長60分程度

☒ 面談日時は先着順で確定

☒ 申込〆切は対話実施日の7日前まで

☒ 面談候補日は募集開始時点の候補日であり
事前予告なく変更となる場合もございます



【社名・団体情報及び個人情報の取り扱いについて】

本申込書にご記載いただく社名・団体情報及び個人情報については、かがわPPP/PFI地域プラットフォームへ併せて登録させていただきます。今回の地域プラットフォームに関するご連絡・運営、および今後開催する地域プラットフォームのご案内に使用し、ご本人の承諾がない限り、その他目的以外の使用、並びに運営者以外の第三者へ提供することはありません。

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名

①高松市塩江道の駅エリア整備における地域振興施設のPPP/PFI手法の導入

地方公共団体名

高松市観光交流課

案件概要

本市では令和2年11月「高松市塩江道の駅エリア整備基本計画」を策定し、新しい道の駅整備に向けて、基盤整備等の各種工事を進めています。一方で、昨今の環境変化や物価高騰などの社会情勢の変化から総事業費の大幅な増加が予想されたことに加え、橋りょう整備の遅延や、併設を予定していた医療施設の他所整備を受け、施設としての最適化を図るべく、道の駅（地域振興施設部分）の整備手法の見直しを検討しています。

本調査は、導入機能や規模、事業手法やスキームについて、民間事業者から幅広く意見を募り、本事業の市場性を把握することを目的としています。

【施設概要】

開業
予定時期

令和11年度以降

建設場所

高松市塩江町安原上東3 5 番地 1 付近

用地地域

都市計画区域外

アクセス

高松空港から車で約15分
高松市中心部から車で約40分

【基本設計時イメージ図】



※ご応募いただいた後、詳細情報を記載した資料を別途送付いたします。

※本件は、「PPP/PFI導入可能性調査業務」のサウンディングも兼ねており、委託業者が同席する場合がございます。

民間事業者に 聞きたいこと

【前提条件】

- 基本設計時の事業費（16.4億円）をベースとし、事業期間の総費用の範囲内で整備できる施設とする（公表済のイメージ図からの変更（既存設計のゼロベースの見直し）、建物構造の変更など、あらゆる可能性も含む）
- 設計、建設、運営を含めた一括発注・長期委託を予定
- 医療施設の建設予定地部分に、道の駅整備と一体的な活用を求める
- 整備基本計画時の機能は温浴施設を含め、原則、引継ぐこと
- 近隣施設の維持管理・運営事業のバンドリングを希望する
- 令和8年度中の民間事業者公募を想定

【質問事項】

- 本事業への興味について
- 導入機能・規模・モデルプランについて
- 事業手法・スキームについて
- その他

ホームページ 詳細資料

有 （概要資料、塩江温泉郷観光活性化基本構想、高松市塩江道の駅エリア整備基本計画、塩江地区都市再生整備計画）

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名	②本庁舎空調整備改修						
地方公共団体名	高松市財産経営課						
案件概要	【背景】 本庁舎の空調設備（エアハンドリングユニット全機、ファンコイルユニット及び冷温水配管の一部）は、本庁舎しゅん工時（昭和55年）から使用され、耐用年数15年を大幅に超えており、早急に更新が必要な状態です。令和2年度の冷温水配管の破裂の事故を受けて、配管の一部（事業費：155,239千円）の改修を行っております。令和6年度に実施設計業務委託の入札を実施しましたが応札者がなく、2度入札中止となっており、今後も落札の見通しが立たず、早期発注が困難な状況です。 そこで、一刻も早い空調設備整備に向けて、事業者の皆さまから、諸課題の解決に向けた方策や事業への参入意向及び本市への要望事項等について、広く意見を募るために、サウンディング型市場調査を実施します。 【施設概要】 <table border="1"> <tr> <td>構造等</td><td>鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上13階建 延べ面積 33,387.38㎡</td></tr> <tr> <td>設備</td><td>エアハンドリングユニット13台、ファンコイルユニット322台、パッケージ型エアコン2台（改修済）ヒートポンプエアコン12台（内1台改修済）、ルームエアコン2台、全熱交換機4台、ポンプ13台、送風機49台、空調中央監視装置1式</td></tr> <tr> <td>備考</td><td>社会福祉総合センターの熱供給プラントから庁舎地下の蓄熱槽（52槽）に空調用冷温水の供給（地域熱供給）を受け、その冷温水を庁舎各階のエアハンドリングユニット及びファンコイルユニットを通して、空調を行っています。</td></tr> </table>	構造等	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上13階建 延べ面積 33,387.38㎡	設備	エアハンドリングユニット13台、ファンコイルユニット322台、パッケージ型エアコン2台（改修済）ヒートポンプエアコン12台（内1台改修済）、ルームエアコン2台、全熱交換機4台、ポンプ13台、送風機49台、空調中央監視装置1式	備考	社会福祉総合センターの熱供給プラントから庁舎地下の蓄熱槽（52槽）に空調用冷温水の供給（地域熱供給）を受け、その冷温水を庁舎各階のエアハンドリングユニット及びファンコイルユニットを通して、空調を行っています。
構造等	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上13階建 延べ面積 33,387.38㎡						
設備	エアハンドリングユニット13台、ファンコイルユニット322台、パッケージ型エアコン2台（改修済）ヒートポンプエアコン12台（内1台改修済）、ルームエアコン2台、全熱交換機4台、ポンプ13台、送風機49台、空調中央監視装置1式						
備考	社会福祉総合センターの熱供給プラントから庁舎地下の蓄熱槽（52槽）に空調用冷温水の供給（地域熱供給）を受け、その冷温水を庁舎各階のエアハンドリングユニット及びファンコイルユニットを通して、空調を行っています。						
民間事業者に聞きたいこと	【前提】 ・ 本庁舎は、しゅん工から70年の稼働を計画しており、その残りの期間でイニシャルコスト及びランニングコストを勘案して、最も安価な空調方式とする。但し、本庁舎の執務を継続しながら施工が可能な方式に限る。 ・ 空調設備工事のしゅん工までの期間ができる限り短いこととする。 ・ 空調機等の設備荷重が現行の設備のものよりも軽いこととする。 ・ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に定める建築物環境衛生管理基準を満たすこととする。 ・ 12階旧電算室の空調機(8台)、ハロン設備を撤去し、EHP及びスプリンクラー設備を追加することとする。 ・ 建物の構造に影響を与えるような改修は不可である。 【質問事項】 ・ 最適な空調方式について、またその根拠 ・ 事業スケジュール ・ 設計及び施工に係る見積金額 ・ イニシャルコスト及びランニングコストの見込み ・ 民間活用手法（PFI-BT方式等）導入の実現性 ・ 様々な事業方式導入の可能性（ESCO・BT・リース等） ・ 参入の意思について、また参入する場合の懸念点 ・ 市内企業の参画 ・ 補助金の利用可能性						
ホームページ 詳細資料	無（受付後関係者に資料を提供いたします）						



【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名	③高松市中央公園における新しい管理運営手法								
地方公共団体名	高松市公園緑地課								
案件概要	【現状と課題】 中央公園は、高松市の中心市街地に位置し、市民の憩いの場、交流の場として長く親しまれてきた高松市を代表する都市公園です。現在、供用開始後、約40年が経過し、施設の老朽化や樹木の肥大化・老木化が進んでいるほか、公園全体のバリアフリー化や防犯上の課題があります。また、多様な利用者ニーズへの対応や、地域活性化に資する新たな魅力づくりが求められています。 【取組状況】（整備予定：令和7年度～令和9年度） 令和元年度から、公募設置管理制度（Park-PFI制度）を活用した再整備についての調査・研究を重ね、令和4年12月に「民間活力を活用した中央公園再整備方針」を策定しました。その後、公募対象施設（カフェ等）の設置等予定者の募集及び選定を行い、令和5年7月に「民間活力をいかした中央公園再整備検討委員会」を立ち上げ、具体的な整備内容の検討を進め、令和7年に実施設計をとりまとめました。民間活力の導入については、令和5年Park-PFI事業(株)ルーヴが決定し、カフェを出店する予定です。 【目的】 整備後の管理運営を民間主体で持続可能にするため、サウンディングで市場性・実現性を検証することを目的とします。 <公園概要> <table><tr><td>対象公園</td><td>高松市立中央公園（地区公園）</td></tr><tr><td>所在地</td><td>香川県高松市番町一丁目11 番地</td></tr><tr><td>面積</td><td>35,196㎡</td></tr></table> 			対象公園	高松市立中央公園（地区公園）	所在地	香川県高松市番町一丁目11 番地	面積	35,196㎡
	対象公園	高松市立中央公園（地区公園）							
	所在地	香川県高松市番町一丁目11 番地							
	面積	35,196㎡							
民間事業者 に聞きたいこと	【前提】 - 本調査は、新たな高松市の顔となる中央公園の管理運営について、単なる施設（樹木や芝生）の維持管理だけではなく、公園全体をより一層柔軟に使いこなし、ストック効果を最大限発揮するための仕組みづくりを行うため、広く民間事業者から、具体的な取組み内容や参入条件の提案を受けるとともに、参入意欲を確認するものである。 - 令和9年のオープンに向けて民間活用も含めて新しい管理運営手法を検討している。 - 再整備により、新しい施設としてオープンする。公園内にはアイパル香川（管理者：香川県）、Park-PFI事業者(株)ルーヴが決定し、ベーカリー & スイーツカフェ出店の予定である。(株)ルーヴにおいて店舗及び特定公園施設（休養施設やトイレ）の維持管理を行う。 - 委託したい業務内容：①施設及び設備の維持管理に関する業務（施設・設備の保守管理に関する業務、環境の維持・管理に関する業務、防災及び安全の確保等に関する業務）、②公園施設の利用の拡大、広報活動及び利用者へのサービスの向上に関する業務、③集客促進に向けた民間事業者からの提案事業（自主事業） 【質問事項】 <全体> - 現在の指定管理条件における制約事項（ボトルネック事項） - 再整備後の中央公園について成果連動型とした場合の参入の可能性 <民間主体の持続可能な管理運営に必要な条件> - 公園の魅力向上や賑わい創出に積極的に取り組むためのインセンティブの項目 - 設備投資等が可能な指定管理期間、指定管理費 - 管理費における官民の負担内容 ※指定管理費 0 の可能性 - 実施したい自主事業の内容 - 成果指標で考えられる項目とその実現性（来園者数・イベント開催回数・自主事業数・地下駐車場稼働率等） <その他> - ネーミングライツの可能性 - 再整備後の中央公園で中心市街地を含め想定される活性化事業								
	ホームページ 詳細資料	有（基本方針（概要版）、基本設計（概要版）、実施設計（概要版））							

5

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名

④廃校施設の利活用

地方公共団体名

坂出市教育総務課

【目的】

市内の廃校園を地域の事情やニーズに応じて有効に活用し、未活用となっている施設については、まちづくりの観点からも売却や貸付も視野に入れた利活用の検討を行うことを目的とします。

【調査対象】

物件番号	名称	所在地	敷地面積
1	旧瀬居幼稚園	坂出市番の州町17番地5	1,456㎡
2	旧瀬居小学校	坂出市瀬居町1500番地1	3,624㎡
3	旧瀬居中学校	坂出市番の州町11番地	17,015㎡
4	旧岩黒小・中学校	坂出市岩黒240番地	5,385㎡
5	旧樫石小・中学校 (校舎棟は調査対象外)	坂出市樫石585-17	10,398㎡
6	旧与島小学校	坂出市与島町263	5,927㎡
7	旧与島中学校	坂出市与島町514-4	10,000㎡



【スケジュール】

内容	日程
実施要領の公表	令和7年6月27日(金)
現地見学会の申込受付	令和7年6月27日(金)～7月25日(金) 現地見学会参加申込書(様式1) 記載のうえ指定WEBフォームより申込
現地見学会の開催	令和7年8月1日(金)～8月8日(金)
サウンディングの申込受付	令和7年6月27日(金)～8月15日(金) エントリーシート(様式2) 記載のうえ、指定WEBフォームより申込
サウンディング実施日及び場所の連絡	随時
提案書の提出期限	令和7年8月15日(金)
サウンディングの実施	令和7年8月25日(月)～8月29日(金)
実施結果概要の公表	令和7年10月以降



申込フォーム



現地見学会申込

案件詳細ならびにお申し込みは、坂出市に直接お問い合わせください。

【詳細】

坂出市HP : <https://www.city.sakaide.lg.jp/soshiki/kyouikusoumu/sounding-haikouen.html>

現地見学会申込URL : <https://logoform.jp/form/PgPP/1062836>

申込フォームURL : <https://logoform.jp/form/PgPP/1063003>

民間事業者に 聞きたいこと

調査対象の土地・建物を有効活用し、事業者自らが展開できる実現及び持続可能な事業のアイデアを募集する。

- ・ 利活用のアイデア
- ・ 利活用の手法（売却又は賃貸の希望、希望価格帯、管理運営方法等）
- ・ 事業の想定スケジュール
- ・ 施設整備・改修等の内容（行う場合のみ）
- ・ 周辺地域への貢献や地域コミュニティとの関わり方に関する考え
- ・ その他、事業実施にあたって市に期待する支援や配慮して欲しい事項

ホームページ 詳細資料

有（実施要領・現地見学会参加申込書（様式1）・エントリーシート（様式2）・提案書（様式3））

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名	⑤志度働く婦人の家跡施設利活用																		
地方公共団体名	さぬき市教育委員会生涯学習課																		
案件概要	【背景】 「志度働く婦人の家」は働く婦人及び勤労者家庭の主婦の日常生活に必要な援助を与え、その福祉の増進に寄与するため、昭和53年、旧志度町によって設置（平成14年の合併に伴いさぬき市が引継）されました。しかしながら、建築から45年が経過し、老朽化が進んでいることや高潮等の浸水区域に立地していることなどから、令和6年度末をもって当該施設の利用を終了しました。 今年度においては、さぬき市の志度エリアが瀬戸内国際芸術祭2025の会場に選ばれたことから、会期中（8月1日～8月31日）は案内所として利用することが予定されているものの、その後の利用計画はありません。 ただ、当該施設は浸水区域にあるものの、県庁所在地である高松市方面に向かう琴電志度駅やJR志度駅が徒歩圏内にあるほか、高速志度バスストップや高速志度ICも車で10分以内にあるなど、アクセス面に優れた立地環境であることから、民間事業者による利活用の可能性が期待できるため、幅広いご意見、ご提案等を求め、これを踏まえた検討を行うこととしました。 【施設概要】 <table border="1"> <tr> <td>名称</td><td>志度働く婦人の家</td></tr> <tr> <td>建築年</td><td>昭和53年4月</td></tr> <tr> <td>所在地</td><td>さぬき市志度5385番地1</td></tr> <tr> <td>敷地面積</td><td>約1,600㎡（駐車場敷地含む）</td></tr> <tr> <td>延床面積</td><td>695㎡</td></tr> <tr> <td>構造</td><td>鉄筋コンクリート造2階建</td></tr> <tr> <td>用途地域</td><td>準工業地域、建ぺい率60%、容積率200%</td></tr> <tr> <td>アクセス</td><td> 琴電志度駅まで0.3km（徒歩4分） JR志度駅まで0.5km（徒歩6分） 高速バスストップ志度まで2.7km（車7分） 高速志度ICまで3.2km（車8分） </td></tr> <tr> <td>その他</td><td> 津波浸水想定区域（1～2m未満） 高潮浸水想定区域（0.5m以上～3.0m未満） </td></tr> </table> 	名称	志度働く婦人の家	建築年	昭和53年4月	所在地	さぬき市志度5385番地1	敷地面積	約1,600㎡（駐車場敷地含む）	延床面積	695㎡	構造	鉄筋コンクリート造2階建	用途地域	準工業地域、建ぺい率60%、容積率200%	アクセス	琴電志度駅まで0.3km（徒歩4分） JR志度駅まで0.5km（徒歩6分） 高速バスストップ志度まで2.7km（車7分） 高速志度ICまで3.2km（車8分）	その他	津波浸水想定区域（1～2m未満） 高潮浸水想定区域（0.5m以上～3.0m未満）
名称	志度働く婦人の家																		
建築年	昭和53年4月																		
所在地	さぬき市志度5385番地1																		
敷地面積	約1,600㎡（駐車場敷地含む）																		
延床面積	695㎡																		
構造	鉄筋コンクリート造2階建																		
用途地域	準工業地域、建ぺい率60%、容積率200%																		
アクセス	琴電志度駅まで0.3km（徒歩4分） JR志度駅まで0.5km（徒歩6分） 高速バスストップ志度まで2.7km（車7分） 高速志度ICまで3.2km（車8分）																		
その他	津波浸水想定区域（1～2m未満） 高潮浸水想定区域（0.5m以上～3.0m未満）																		
民間事業者に関きたいこと	【前提】 - 立地する施設の種類や利活用のジャンルは問わないが、雇用の創出や幅広い地域活性化をが期待できる事業を望んでいる。 - また、建物等は、現状有姿での提供が必須となる。解体するかリノベーション等により活用してほしい。 ※ 市からの財源投入はありません。 【聞きたいこと】 - 当該施設の利活用の可能性 - 事業者の公募に当たっての条件																		
ホームページ詳細資料	位置図等（志度働く婦人の家）																		

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名	⑥高齢者福祉開発推進センター（日盛の里）及び生活支援ハウス（日盛苑）跡施設利活用		
地方公共団体名	さぬき市健康福祉部長寿介護課		
案件概要	【背景】 平成14年3月に完成した、さぬき市高齢者福祉開発推進センター（日盛の里）及びさぬき市生活支援ハウス（日盛苑）（以下「日盛の里等跡施設」という。）は、これまで生活支援ハウスやデイサービス事業などの用途で活用してきましたが、令和6年4月以降は休館状態にあるため、跡施設を活用した地域振興等に資する事業に関する幅広いご意見、ご提案等を求めることとしました。 なお、当該跡施設を活用した地域振興等に資する事業に関する提案については、基準価額を提示したうえで昨年7月1日から12月25日まで募集を行っていましたが、一事業者から利活用の意向があったものの、事業採算性等が見込めないことから断念され応募がなかったことから、譲渡基準価額を引き下げたうえで、本年6月から9月末まで改めて募集を行っているところです。 （HP：https://www.city.sanuki.kagawa.jp/137810）		
	【施設概要】		
	名称	高齢者福祉開発推進センター（日盛の里）跡及び生活支援ハウス（日盛苑）	
	建築年	平成14年3月	
	所在地	さぬき市鴨庄4481番地2	
	敷地面積	19,673㎡（駐車場敷地含む）	
	延床面積	3,331.29㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造2階建	
	用途地域	都市計画区域外	
	アクセス	JR志度駅まで6km（車9分） 高速バスストップ志度まで6.7km（車11分） 高速志度ICまで6.5km（車10分）	
			
民間事業者に関きたいこと	【前提】 ・ 当該跡施設の利活用においては、次の条件が前提となる。 ・ 建物の一部において、民間診療所「ひもりの里診療所」が開設されている。 ・ 敷地内に農業展示施設「さぬき市田園交流センター」が併設されている。 ・ 敷地内駐車場は、指定緊急避難場所（高潮・津波・地震・大規模火災）に指定されている。 ・ なお、建物等は、現状有姿での提供が必須となる。解体するカリノベーション等により活用してほしい。 ※ 市からの財源投入はありません。 【聞きたいこと】 ・ 民間事業者による独立採算事業による展開の可能性 ・ 事業展開の可能性がある業態 ・ 譲渡・貸付価額の妥当性		
ホームページ詳細資料	位置図等（日盛の里）		

8

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名 ⑦津田港上屋倉庫（旧海苔加工場等）利活用

地方公共団体名 さぬき市プロジェクト推進室

【背景】

「津田港上屋倉庫」は、水産振興の基盤整備と野積場の有効活用を図ることを目的に、昭和62年度に旧津田町によって2棟整備され、以来東側の1号上屋は海苔加工場として、西側の2号上屋は漁具倉庫として使用されてきました。

しかし、昨今の漁獲量の減少、漁業従事者の高齢化や後継者の減少などにより、1号上屋の海苔加工場は令和4年3月をもって閉鎖、2号上屋は殆ど使用されていない状態となっています。

現在本市では、津田港から1.5kmほど東にあり今も多く観光客が訪れる津田の松原において、誘客の核となる施設として「道の駅津田の松原」のリニューアル計画を進めるとともに、この「松原エリア」、民間事業者による店舗出店が相次ぐ「ウツダエリア」から「津田港エリア」までの人流交流の促進を図ることとしています。

こうしたことから、津田港エリアの賑わいの核となる施設として、2棟の上屋倉庫を有効活用し、地元の津田町漁業協同組合などとタイアップした生産物直売所、飲食施設、イベントスペース等の整備の可能性を検討しています。

当該エリアは、年間約18.5万人の観光客が訪れる津田の松原に近く、JR讃岐津田駅、高速津田バスストップや高速津田寒川ICも車で数分以内にあるなど、アクセス面に優れた立地環境であることから、民間事業者による利活用の可能性が期待できるため、幅広いご意見、ご提案等を求め、これを踏まえた検討を行うこととしました。

案件概要

【施設概要】

名称	津田港上屋倉庫
建築年	昭和63年1月
所在地	さぬき市津田町 津田1402番地24、1402番地25
延床面積	498㎡×2棟
駐車場	敷地外に共用駐車場有り
構造	スレート葺一階建て倉庫
用途地域	都市計画区域内 無指定
アクセス	JR讃岐津田駅まで1.4km（車4分） 高速津田バスストップまで3.8km（車9分） 高速津田寒川ICまで2.9km（車5分）
その他	津波浸水想定区域（0.3m未満） 高潮浸水想定区域（0.5m以上～3.0m未満）



民間事業者に 聞きたいこと

【前提】

- 津田町漁業協同組合、地元企業、団体等と連携した生産物直売施設、飲食施設、イベントスペースなどの整備が前提となる。

【聞きたいこと】

- 当該施設を現状有姿で提供し、民間事業者でリノベーションの上での運営の可能性
- 当該施設のリノベーションを市において実施した上での民間事業者による運営の可能性
- その他当該施設の利活用策
- 事業者の公募に当たっての条件

ホームページ 詳細資料

位置図等（津田港上屋倉庫）